さとえ学園新聞

発行所
学校法人 佐藤栄学園
〒330-0855
さいたま市大宮区上小町476
電話：048-641-9642
印刷：関東図書㈱
発行：毎月10日
1年：1,200円
購読のお申し込みは上記へ

2面 埼玉栄高・埼玉栄中
3面 栄東高・栄東中
4面 花咲徳栄高・栄北高
5面 さとえ学園小・埼玉自動車大
6面 平成国際大・
サトエ記念二十一世紀美術館

日本美術専門学校　100年の歴史に幕

支えとなった多くの人に心から感謝を

大正7年に創立した「日本美術学校」を引き継ぐ形で平成6年に開校した「日本美術専門学校」（以下「日美」）が3月31日、100年の歴史に幕を下ろした。

3月19日には、感謝の会が開かれ、美術団体関係者をはじめ学園理事や同校親交会会長などが出席し、思い出を振り返った。

日美の前身となる「日本美術学校」は、大正7年に豊多摩郡戸塚町（現新宿区西早稲田）に開校し、早稲田大学教授でもあった紀淑雄が初代校長を務めた。昭和初期には200人の学生が在籍し、画家、彫刻家、小説家など数多くの芸術家を輩出した。同校の廃校を惜しんだ佐藤栄太郎初代理事長は、平成6年に同校の伝統と精神を継承し、佐藤栄学園が擁する「専門学校日本美術学校」として埼玉県大宮に再建し、平成11年に「日本美術専門学校」と改名。平成15年には埼玉伊奈町にキャンパスを移転するなど変化を続けながら23年の歴史を重ねてきた。

日美となってからは、講師陣にデザインや美術界の第一線で活躍するプロのクリエイターや作家を迎え、常に「プロがプロを育てる」教育を実践してきた。また、開校当時は一般的ではなかった美術系専門学校から美術系大学編入にも力を注ぎ、女子美、日芸、多摩美、武蔵美、京都芸大等に学生を送り出した。また、授業の一環として、高崎・熊谷のワークショップや地域の展覧会、企業や公共団体とコンタクトを取り、企画やプロジェクト等の様々な案件を引き受ける産業協同事業にも取り組み、ニーズに合わせたポスターやギフトパッケージ等の制作を行った。

3月19日に清水園で行われた感謝の会では、（社）二紀会の山本貞理事長や森山憲一理事長、鴇田恵美子親交会会長ら34人が出席し、森山理事長の挨拶では、「日本美術専門学校は、創立から100周年を迎える節目の年に廃止することとなりましたが、今までご尽力いただいた多くの方々、先生方に心よりお礼を申し上げます。また、本校を巣立っていった卒業生たちへ今後も変わらぬご支援をお願いいたします」と、言葉を述べた。会の途中には、スライドショーが流され、授業風景やデッサンなどの実習の様子、海外研修旅行、日美祭など、学生たちが過ごした在りし日の写真がスクリーンを彩り、日美の歩んできた歴史や思い出を振り返った。

思いを巡らせ

この春入学する皆さんへ

学校法人佐藤栄学園　理事長　森山　憲一

4月となり、春本番となりました。今年の桜は、例年より一週間程早く開花し、満開になるのもたいそう早く感じました。この冬の寒さと、春からの急な気温の上昇で、昨年この欄で話題にした、桜の開花のメカニズム「休眠打破」が順調に進んだようです。

ところで、桜と言えばソメイヨシノを思い浮かべますが、最近は埼玉県でも、2月の後半から、少しピンクの濃い桜をあちこちで見かけるようになりました。早咲きで有名な河津桜かと思いますが、満開から潔く散りだすソメイヨシノと違い、ずいぶん長く咲いています。桜の世界もいろいろ種類が増え、季節感が変わっていくように思います。

さて、桜もすっかり葉桜となりましたが、学園としては、入学式のシーズンを迎えました。今年度の入学者数は、学園全体で3355名の学生・生徒・児童を迎えることができ、大変感謝すると同時に、新入生の皆さん全員が充実した学園生活が送れるようにする責任の重さも感じております。

学園の建学の精神「人間是宝」は、新入生の皆さんは全員が宝の原石であり、無限の可能性を持っていることを前提としていますその可能性を拓き、文字通りの宝とするのが、私ども教職員の使命でありますから皆さんはぜひ自分に自信をもって、いろいろなことに挑戦してください。今は誰もが新たな気持ちで意欲が満ち溢れていることでしょう。その気持ちを大切に、少しハードルを上げて、夢や目標を設定してください。校訓「今日学べ」はこれを実現させる上での心構えで、明日に甘えることなく、今日できることは今日のうちにやるという姿勢を目指したものです。明日にやるべき事を残すことは、明日がマイナスから始まることになります。もしかするとそれの処理だけで一日が終わってしまうこともあります。何事もプラスが大事であり、後から挽回できると思っても、なかなかできないものです。日々の実践で、物事をうまく回転させる習慣をぜひ身に付けてください。

また、一般企業の入社式に当たる着任式も終了し、42名の優秀な新採用者が学園各校に配属となりました。新任研修会では、「わかるまで、できるまでの面倒見の良い教師になり、すべての生徒の才能を見出し、課題を克服させ、その中から達成感や喜びを感じさせる教育を」と激励しました。先輩教職員を見習い、新採用者全員が佐藤栄学園に相応しい一流の教職員に育ってほしいと願っております。

さて、入学式も終わると、いよいよ新しいステージでの生活が始まります。誰もが最初は慣れない環境にとまどい、大変かと思います。通学時も事故にあわないよう、十分注意が必要です。また健康にも気をつけ、まずは元気に学校に通うことです。ぜひ、新鮮な気持ちを持続させ、皆さん全員が順調に成長されることを祈念いたします。

人間是宝

内藤　広暁
埼玉栄高校　26期生
株式会社埼玉新聞事業社　営業部　課長

「出会い・感謝」

私は埼玉栄高校普通科に入学し、3年間硬式野球部に在籍しておりました。

現在、株式会社埼玉新聞事業社に勤務し、新聞・テレビ・ラジオといったマス媒体、住宅展示場、イベント運営等といった広告代理業務の営業を行っております。時代の流れを敏感にキャッチしクライアントのニーズに合った情報（広告・原稿・キャッチコピー等）を提供し、クライアントとのコミュニケーションも大切にしながら、人と人との信頼関係を築けるように日々の営業で心掛けております。

振り返ってみると分岐点となる時に様々な方々との出会いがありました。中学3年生の時、野球を続けるか迷っていました。そんな時に、たまたま試合を観に来ていた栄高校の関係者の方から「3年後に一緒に甲子園に行こう」という言葉を頂き、続ける決心をしましたが、夢でもあった甲子園で実際にプレーをし、埼玉栄高校の校歌を1回でも歌えたことは私自身の高校生活1番の思い出でもあり、人生の糧にもなっております。夏の甲子園はそれ以降出場がありません。硬式野球部の皆さん、「私を甲子園に連れてって！」

在校生の皆さん、おそらくこれから目まぐるしく進化するAI（人工知能）を基に機械化も一段と進んでいくでしょう。当たり前のことですがどんなに技術が進歩しようとも、出会った人間と自分自身の人生を歩んでいくのは間違いありません。価値観は人それぞれですが、私はどれだけ多くの人に出会い、感謝し、感謝されたかがその人の人生の幸福度になるのだと考えています。これからも人と出会い、いつまでも人に感謝し、感謝される様に1日1日を大切に歩んでいってください。

過点だ」と言われました。最初は無理だと思っていました。ただ次第に、厳しい練習と試合を繰り返していくと、私自身もチーム全体にも、甲子園優勝という夢が目標に変わっていきました。

その結果、第80回全国高校野球選手権大会に埼玉県代表として出場する事が出来ました。2回戦敗退という成績で悔しい思いもありましたが、夢でもあった甲子園で実際にプレーをし、埼玉栄高校の校歌を1回でも歌えたことは私自身の高校生活1番の思い出でもあり、人生の糧にもなっております。夏の甲子園はそれ以降出場がありません。硬式野球部の皆さん、「私を甲子園に連れてって！」

在校生の皆さん、おそらくこれから目まぐるしく進化するAI（人工知能）を基に機械化も一段と進んでいくでしょう。当たり前のことですがどんなに技術が進歩しようとも、出会った人間と自分自身の人生を歩んでいくのは間違いありません。価値観は人それぞれですが、私はどれだけ多くの人に出会い、感謝し、感謝されたかがその人の人生の幸福度になるのだと考えています。これからも人と出会い、いつまでも人に感謝し、感謝される様に1日1日を大切に歩んでいってください。

平成30年度 辞令交付式

佐藤栄学園の辞令交付式が4月2日、さいたま市にある学園本部にて行われ、42名の教職員が辞令を受け取り、学園での業務をスタートさせた。

式では、学園理事や各校校長が見守る中、新教職員が一人ひとり呼名され、森山憲一理事長から辞令を受け取った。森山理事長は「生徒に校訓の『今日学べ』を説くと同時に、みなさん自らが『今日学べ』を実践し、1日でも早く各学校の戦力として活躍されることを期待しています。教えることも大切ですが、まずは自ら勉強するということを常に心掛け、これから日々精進してください」と激励の言葉を送り、新教職員代表の柴田健司さんが「建学の精神『人間是宝』を体し、本学園の教育方針、諸規則、指示、命令を遵守し、教職員としての品位を保ち、誠実に勤務することをお誓いいたします」と、誓いの言葉を述べた。

式終了後は、新教職員が各自の所属校へ移動し、初業務に就いた。

武蔵野銀行アプリ
グルメ・レジャー等
お得なクーポン配信中！
Download on the App Store　ANDROID APP ON Google play
本店営業部
さいたま市大宮区大成町3-
武蔵野銀行

SUBARU すべては安心と愉しさのために。

埼玉スバル自動車株式会社
本社：さいたま市中央区上落合8-4-11
〒338-8555　TEL:048-852-0131
http://www.saitama-subaru.co.jp/

関東いすゞ自動車株式会社
本社/〒370-1202 高崎市宮原町1-21
TEL.027-346-1111 FAX.027-347-0231
http://www.kanto-isuzu.co.jp/

まち・ひと・こころをつなぐ宿（ホテル）
大宮駅西口　ソニックシティ
歩行者デッキにて直結徒歩3分
パレスホテル大宮
☎ 048-647-3300　http://www.palace-omiya.co.jp

RESONA
埼玉りそな銀行
大宮西支店
TEL（048）641-6641